

令和7年度 石川県毒物劇物取扱者試験

【各論・実地（特定品目） 問1～問40】

受験番号	氏 名

◎ 指示があるまで開いてはいけません。試験監督者の指示に従ってください。

◎ 注意事項

1 試験問題は40問で、15時10分から16時30分までの80分で解答すること。

2 試験問題の注意事項

- (1) 試験問題文中では、毒物及び劇物取締法を「法」、毒物及び劇物取締法施行令を「政令」、毒物及び劇物取締法施行規則を「省令」とそれぞれ略称する。また、毒物劇物業者とは、毒物又は劇物の製造業者、輸入業者又は販売業者のことをいう。
- (2) 問題の内容については、質問しないこと。
- (3) 廃棄方法については、「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」によるものとして解答すること。また、応急措置については、「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」によるものとして解答すること。なお、いずれの基準も厚生省（現厚生労働省）から通知されたものをいう。

3 解答方法は以下のとおりとする。

- (1) 解答用紙には、氏名、フリガナを忘れずに記入してください。また、受験番号を右詰めで記入し、該当する数字のマーク欄を塗りつぶして（マークして）ください。
- (2) 各問題には、正しい答えは一つしかありません。最も適当と思った答えを一つ選び、次の解答例にならって、解答用紙にHB又はBの鉛筆で塗りつぶして（マークして）ください。二つ以上選んだ場合は、その問題は採点されず無効になります。

（解答例）問300 次の都市のうち、石川県の県庁所在地はどれか。

- 1 岐阜市 2 名古屋市 3 金沢市 4 津市 5 富山市

正しい答えは「3」であるから解答用紙の

問300 ① ② ③ ④ ⑤ のうち ③ を塗りつぶして

問300 ① ② ● ④ ⑤ とすればよい。

（悪いマーク例） 

濃くしっかり塗りつぶさないと
採点されず無効になります

- (3) 答えを修正する場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消してください。鉛筆のあとが残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正又は解答したことにならないので注意してください。
- (4) 解答用紙は折り曲げたり、汚したりしないよう、特に注意してください。

特定品目

令和7年度毒物劇物取扱者試験問題

石川県

各論・実地

問1

特定品目販売業の登録を受けた者が販売できる物質の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 臭素
- b 塩化水素
- c 酸化鉛
- d フッ化水素

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	正	誤	正	正

問2～問6

次の物質を含有する製剤は、毒物及び劇物取締法令上、一定濃度以下で劇物から除外される。その上限の濃度として、正しいものを下欄からそれぞれ選びなさい。なお、同じものを繰り返し選んでもよい。

問2 クロム酸鉛

問3 水酸化カリウム

問4 塩化水素（ただし、硫酸は含有しないものとする。）

問5 ホルムアルデヒド

問6 アンモニア

【下欄】

1	1%	2	5%	3	6%	4	10%	5	70%
---	----	---	----	---	----	---	-----	---	-----

問7

キシレンに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 常温・常圧において、無色透明な液体である。
- 2 芳香族炭化水素特有の臭いがある。
- 3 水によく溶ける。
- 4 吸入すると深い麻酔状態に陥ることがある。

問8～問12

クロロホルムに関する記述について、()の中に入れるべき字句を下欄からそれぞれ選びなさい。

示性式：(問8)

毒物劇物の別：(問9)

常温・常圧における性状：(問10)、揮発性の液体で、特異の香気と、かすかな甘味を有する。

貯蔵方法：純品は、空気に触れ、同時に日光の作用を受けると分解して塩素、(問11)、ホスゲン、四塩化炭素を生ずるため、少量の(問12)を加えて、分解を防止する。

【下欄】

問8	1	CH_3Cl	2	CHCl_3	3	CH_2Cl_2
問9	1	毒物（特定毒物を除く）	2	劇物	3	特定毒物
問10	1	無色	2	藍色	3	赤褐色
問11	1	塩化水素	2	水素	3	一酸化炭素
問12	1	水酸化ナトリウム	2	アルコール	3	水

問 13～問 16

次の物質等の用途として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

問 13 ケイフッ化ナトリウム

問 14 過酸化水素水

問 15 クロム酸ナトリウム

問 16 硝酸

【下欄】

1 漂白剤	2 釉薬	3 工業用の酸化剤、製革用	4 冶金、爆薬の製造
-------	------	---------------	------------

問 17～問 20

次の物質等の取り扱い上の注意事項として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

問 17 クロム酸鉛

問 18 ホルマリン

問 19 酸化第二水銀

問 20 塩素

【下欄】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 反応性が強く、水素又は炭化水素（特にアセチレン）と爆発的に反応する。2 強熱すると有毒な煙霧及びガスを生成する。3 溶液が高温に熱せられると含有アルコールがガス状となって揮散し、これに着火して燃焼する場合がある。4 乾性油と不完全混合し、放置すると乾性油が発火することがある。 |
|---|

問 21～問 24

次の物質の常温・常圧における性状等として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

問 21 四塩化炭素

問 22 水酸化ナトリウム

問 23 酢酸エチル

問 24 塩素

【下欄】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 黄緑色の気体で、窒息性臭気を有する。2 無色の重い液体で、揮発性があり、麻醉性の芳香を有する。3 無色透明の液体で、果実様の芳香を有する。4 白色の固体で、潮解性を有する。 |
|---|

問 25～問 27

次の物質の常温・常圧における性状等として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

問 25 メチルエチルケトン

問 26 ケイフッ化ナトリウム

問 27 重クロム酸ナトリウム

【下欄】

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 白色の結晶で、水に難溶である。2 橙色の結晶で、潮解性を有する。3 無色の液体で、アセトン様の芳香を有する。 |
|--|

問 28～問 31

次の物質等の貯蔵方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

問 28 水酸化カリウム

問 29 過酸化水素水

問 30 四塩化炭素

問 31 トルエン

【下欄】

- 1 二酸化炭素と水を吸収する性質が強いため、密栓して保管する。
- 2 少量であれば褐色ガラス瓶、大量であればカーボイ（硬質容器）などを使用し、直射日光を避け、冷所に貯蔵する。温度上昇、動揺などにより爆発することがある。
- 3 亜鉛又はスズでメッキした鋼鉄製容器を用い、高温に接しない場所に保管する。本品の蒸気は空気より重く、低所に滞留するため、地下室などの換気の悪い場所には保管しない。
- 4 引火しやすく、また、その蒸気は空気と混合して爆発性混合気体となるため、火気には近づけない。

問 32

メタノールに関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 常温・常圧において無色透明な液体で、蒸気は空気より重く引火しやすい。
- b 爆発性があり危険であるため、燃料として使用されることはない。
- c 粘膜を刺激することはあるが、皮膚から吸収されることはない。
- d 高濃度の蒸気に長時間曝露された場合、失明することがある。

- 1 (a、b) 2 (b、c) 3 (c、d) 4 (a、d)

問 33～問 36

次の物質等の鑑別方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

問 33 硫酸

問 34 水酸化ナトリウム

問 35 塩酸

問 36 一酸化鉛

【下欄】

- 1 液面にアンモニア試液で潤したガラス棒を近づけると、濃い白煙を生じる。
- 2 小さな試験管に入れて熱すると、はじめに黒色に変わり、後に分解する。さらに熱すると完全に揮散する。
- 3 希積水溶液に塩化バリウムを加えると、白色沈殿を生じるが、この沈殿は硝酸に不溶である。
- 4 希硝酸に溶かすと無色の液になり、これに硫化水素を通すと黒色の沈殿を生成する。
- 5 水溶液を白金線につけて無色の火炎中に入れると、火炎は著しく黄色に染まり、長時間続く。

問 37

物質等の廃棄方法に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 硝酸は、徐々に炭酸水素ナトリウム又は水酸化カルシウムの攪拌溶液に加えて中和させた後、多量の水で希釈して処理する。水酸化カルシウムの場合は、上澄み液のみを流す。
- b 一酸化鉛は、セメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。
- c 酸化水銀 5%以下を含有する製剤は、酸化焙焼法により金属水銀として回収して処理する。
- d アンモニアは、珪そう土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問 38

硫酸に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 常温・常圧において、濃青色の液体である。
- 2 20%を含有する製剤は、劇物に該当する。
- 3 濃硫酸を水に溶かすと熱が発生する。
- 4 濃硫酸は脱水作用を有する。
- 5 肥料や化学薬品の製造に用いられる。

問 39

物質とその毒性との関係の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

	(物質)		(毒性)
a	シュウ酸	—	血液中のカルシウム分を奪取し、神経系を侵す。
b	酢酸エチル	—	吸入すると、はじめに頭痛、悪心等をきたし、黄疸のように角膜が黄色となり、次第に尿毒症様の症状を呈する。
c	クロロホルム	—	吸入した場合、強い麻酔作用があり、めまい、頭痛、吐き気を催す。
	a	b	c
1	誤	正	正
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	正

問 40

重クロム酸ナトリウムが漏えい又は飛散した場合の応急処置に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 多量の場合、漏えい箇所や漏えいした液には消石灰を十分に散布し、シート等をかぶせ、その上にさらに消石灰を散布して吸収させる。漏えい容器には散布しない。
- 2 土砂等で流れを止め、安全な場所に導き、空容器にできるだけ回収し、そのあとを中性洗剤等の分散剤を使用し、多量の水で洗い流す。
- 3 空容器にできるだけ回収し、そのあとを還元剤（硫酸第一鉄等）の水溶液を散布し、水酸化カルシウム、炭酸ナトリウム等の水溶液で処理した後、多量の水で洗い流す。

